

2017.07.31：次世代育成調査特別委員会 本文

○菅原正和委員 委員長、副委員長、どうも御苦労さまでございました。

私も報告書を読ませていただきまして、大分まとまっているなという感じを受けました。私が思っていたような言葉がたくさん入っていたので、その辺でもう賛同したいというのがちょっとありまして、ただ、今わたなべ委員がおっしゃったように、家庭環境が一番とても問題になっているということで、家庭の中にも地域がどんどん踏み込んでいかなきゃだめなのかなとか、学校が踏み込んでいかなきゃだめなのかなという問題も多々出てきている。それをどうやって解消していけばいいのかというのが、以降、課題になっていくのかなという感じもします。

あと、子供を育てる仕組みについても、一生懸命頑張っている人はうんと頑張るんだけど、それ以外の方が平準化していて、それじゃレベルが上がらない。それが多分あるのかなと、そのような感じは受けております。

私も昔、地域で子供たちを育ててということをやっていたけれども、その活動は間違いでなかったのかなと改めて感じた次第です。

あと、今回2年間やって、あちこち行くといろんな違った地域性というのが見られたので、地域性というのは、地域で子供を一生懸命、地域に育つということで、郷土愛というのが多分生まれてくるかと思うので、画一的な指導ではなく、地域ごとの指導をしていくと、子供のほうにも地域愛が芽生えてくるのかなと、そのように感じた次第です。